

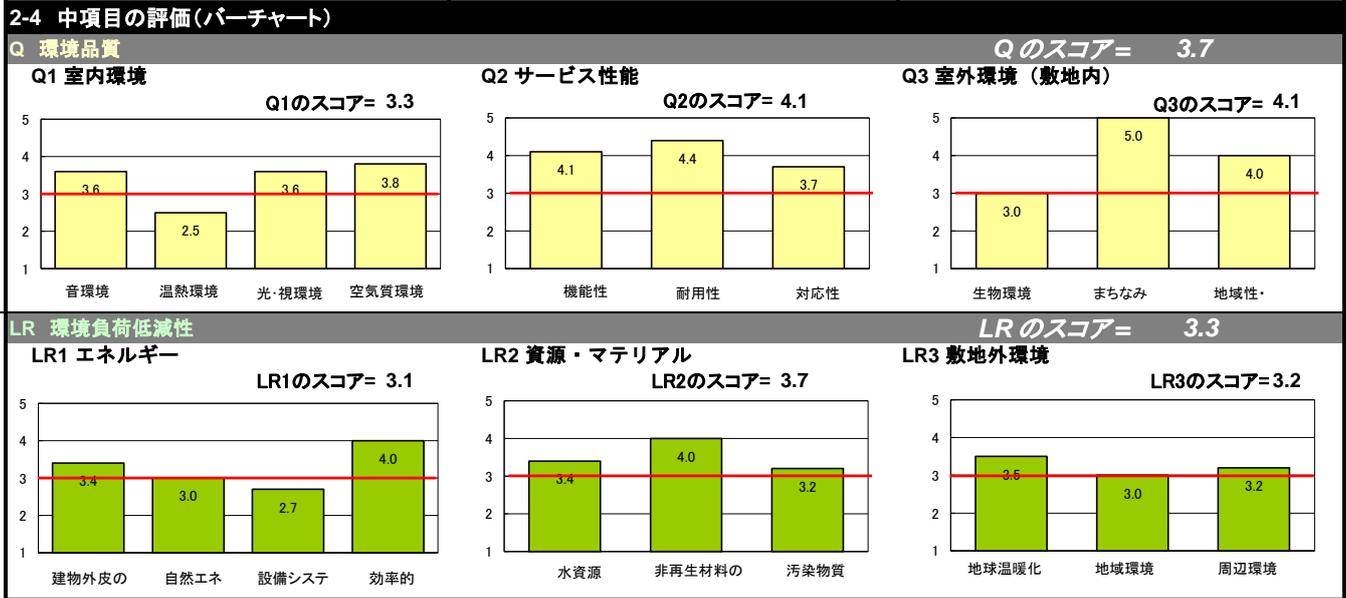
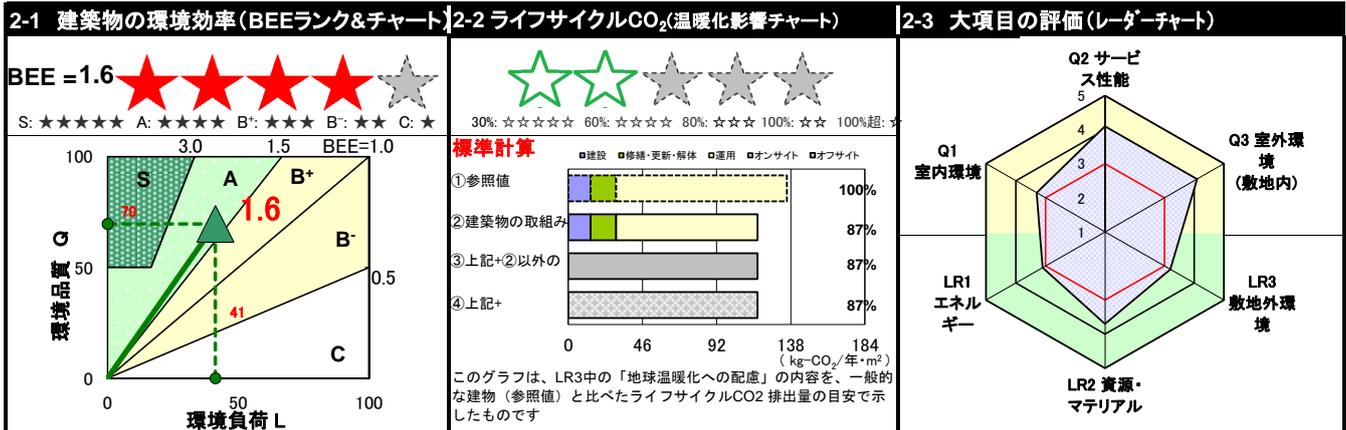
CASBEE® 広島

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE 広島 2016年版

使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

| 1-1 建物概要 | | 1-2 外観 | |
|----------|--------------------|--------|-----------------|
| 建物名称 | テレビ新広島新社屋 | 階数 | 地上6F |
| 建設地 | 広島県広島市南区出汐2丁目721-1 | 構造 | S造 |
| 用途地域 | 近隣商業地域、防火地域、準防火地域 | 平均居住人員 | 192 人 |
| 地域区分 | 6地域 | 年間使用時間 | 3,650 時間/年(想定値) |
| 建物用途 | 事務所、集会所、工場 | 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 竣工年 | 2020年6月 予定 | 評価の実施日 | 2018年12月1日 |
| 敷地面積 | 3,547 ㎡ | 作成者 | 清水建設株式会社 河野亮太 |
| 建築面積 | 1,547 ㎡ | 確認日 | 2018年12月17日 |
| 延床面積 | 8,074 ㎡ | 確認者 | 清水建設株式会社 後藤真吾 |



| 3 広島市の重点項目 | | |
|---|--|---|
| <p>重点項目の総平均スコア = 3.5</p> | | |
| <p>「地球温暖化対策」の推進</p> <p>スコア = 3.4</p> <p>設計の計画上特段に配慮した事項</p> <p>東・南・西面の窓面積を最小限に抑え、またLow-Eガラスを採用し、窓負荷の低減を図った。///空冷ヒートポンプパッケージは高効率型を採用、主要居室の換気は全熱交換型換気扇を採用、また照明は全てLED照明としエネルギーの削減を図った。/節水機器の採用により水資源保護に配慮、またリサイクル材を採用し省資源に配慮している。/省エネによりLCCO₂排出量の削減に配慮している。</p> | <p>「ヒートアイランド対策」の推進</p> <p>スコア = 3.3</p> <p>設計の計画上特段に配慮した事項</p> <p>屋上緑化および道路境界に沿って緑化空間を形成し熱環境の向上に配慮している。/十分な駐車スペースの確保、導入路や出入り口幅の計画に配慮し周辺道路の渋滞緩和に寄与。</p> | <p>「長寿命化対策」の推進</p> <p>スコア = 4.1</p> <p>設計の計画上特段に配慮した事項</p> <p>高い耐震性と免震装置導入と共に更新間隔の長いダクトや配管材料を採用し耐用性の向上に配慮している。/電気・通信のケーブルラックの余裕を持たせ、仕上げ材を痛めることなく更新・修繕が可能な計画としている。バックアップスペースを確保し更新制の向上に配慮している。</p> |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される